

2025 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 ヤ ー マ ン 株 式 会 社  
( コード番号 : 6630 東証プライム市場 )  
代 表 者 名 代表取締役社長 山 崎 貴 三 代  
問合せ先責任者 取締役管理本部長 宮 崎 昌 也  
T E L 03-5665-7330  
U R L <https://www.ya-man.co.jp/>

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 12 月 12 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等をふまえ、2025 年 6 月 13 日の 2025 年 4 月期決算発表時に開示した 2025 年 12 月期（2025 年 5 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2025 年 12 月期通期業績予想数値の修正（2025 年 5 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	450	405	250	4.54
今回修正予想(B)	16,500	△800	△800	△1,400	△25.44
増減額(B－A)	△1,500	△1,250	△1,205	△1,650	
増減率(%)	△8.3	－	－	－	
(ご参考)前期実績 (2025 年 4 月期)	25,040	628	310	706	12.85
(ご参考)前期実績 (2025 年 4 月期) ※8 ヶ月換算	16,693	418	207	471	8.56

## 2. 修正の理由

世界的な資源価格の高止まり、円安の進行、物価高騰に伴う消費者の購買意欲の変化などが足元でも続く中、通期連結業績予想の達成に向けて注力してまいりましたが、インバウンド客の落ち込みや広告宣伝費の抑制による売上高の減少に加え、円安による仕入価格の上昇の影響を受け、売上・利益ともに計画を下回る結果となりました。

現在、国内の年末商戦期や海外の大型 EC イベントに向けて需要の最大化を図るべく、売上拡大施策を強化しておりますが、将来的な成長基盤を確立するための戦略的な投資と、国内事業の収益構造の抜本的改革の過渡期にあることから、今回、通期連結業績予想を修正することといたしました。

また、将来に向けた事業構造の転換を確実にするための、財務基盤の再構築に伴う一時的な費用を計上する見込みであり、当該費用は、この中長期的な成長戦略の実行力強化と資産の最適化を図る一環として、当期の業績予想に織り込んでおります。

### 3. 中期経営計画について

当社は、2028年度末までの売上高 700 億円達成に向けた新たな中期経営計画（2026年1月～2028年12月）の詳細について、2025年12月末までの公表を予定しておりましたが、この度、公表時期を延期させていただくことを決定いたしました。今回の新たな中期経営計画は、『美顔器といえばヤーマン』の復活と『日本発』グローバルで通用する製品・ブランド創りをテーマに掲げ、長期的な企業価値向上を目指すものです。この計画を、確実な実行力を持つものとするため、経営層および各部門の責任者間で経営のグランドデザインの根幹に関わる詳細な再検討と調整を進めております。

新たな中期経営計画の詳細な公表時期につきましては、2026年3月中を予定しております。当社は、この延期期間を活用し、国内外の市場環境を深く見極めながら、目標達成に向けてより確実性の高い、強固な基盤を持った計画を策定してまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予測値と異なる可能性があります。

以上